

# 研修制度

～将来を担う若手・中堅職員の着実なキャリア形成に向けて～

## OJT



### 職場内研修

日常の仕事を通じて、先輩職員などから、仕事をしていく上で必要な知識やスキル・態度等を学ぶことができます。特に、新規採用職員には「新人育成リーダー」がつき、仕事の支援や身近な相談役としてサポートします。



## 新人育成



### 充実の研修メニューであなたの成長をしっかりとサポートします！

大田区職員としての基本をしっかりとし身につけ、着実にキャリアを積み重ねていけるよう、新人研修やOJTを行っています。新規採用職員が早く職場になじみ、主体的に仕事に取り組んでいけるよう、さまざまなサポートをする体制や制度を用意しています。

### 自己啓発の支援

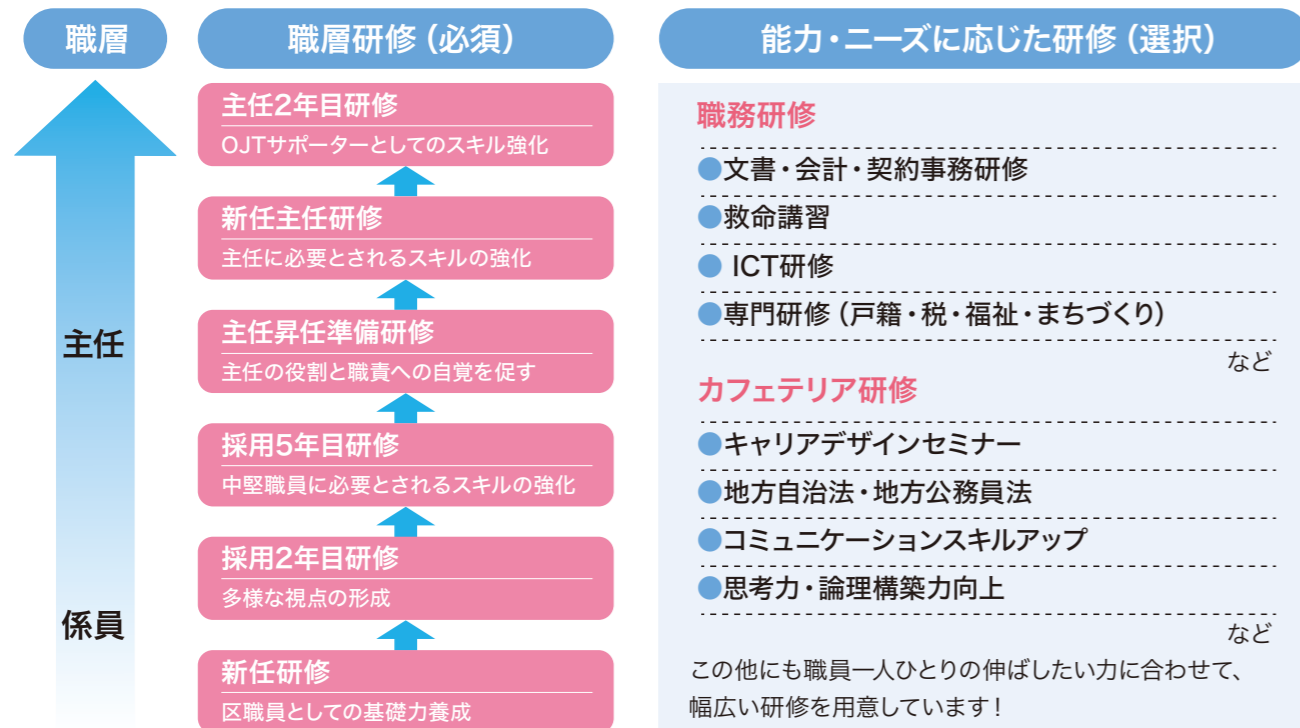
研修以外にも、職場の学びたい！成長したい！気持ちを応援する制度がたくさんあります。

- 図書・DVD貸出
- 自主研究グループ助成制度
- 資格取得支援  
(一級建築士、精神保健福祉士、情報処理技術者など)

## 研修体系のモデル図



採用～主任まで



# 人事制度

## 初任給



(令和5年4月1日現在)

|              |                              |
|--------------|------------------------------|
| I類           | 約225,800円<br>(保健師:約233,400円) |
| II類          | 約200,800円                    |
| III類         | 約182,500円                    |
| 経験者 (1級職)    | 約251,700円                    |
| 経験者 (2級職/主任) | 約298,900円                    |
| 経験者 (3級職/係長) | 約357,100円                    |

※上記の金額には、地域手当が含まれます。  
 ※採用前に職務経験などがある方には、一定の基準により加算される場合があります。(加算上限あり)  
 ※この他に、期末・勤勉手当、通勤手当、扶養手当、住居手当などが支給されます。  
 ※採用までに条例等の改正が行われた場合には、その定めるところによります。

## 勤務時間等



勤務時間：原則8時30分から17時15分まで  
 休憩時間：原則12時から13時まで  
 ※所属によって一部異なります。

### ◎週休日

原則、土曜日と日曜日の週休二日制です。  
 ※所属によって一部異なります。

### ◎休暇等

年次有給休暇は年度単位(4月1日付与)で20日です。その他、夏季休暇(5日)、介護休暇などがあります。また、出産支援休暇、育児参加休暇、子の看護のための休暇、妊婦通勤時間、母子保健健診休暇、育児休業、育児時間、部分休業など、子育てをサポートする制度も充実しています。

## 福利厚生



### ●職員住宅(独身住宅)

|       |  |
|-------|--|
| 所 在   | 【男子】志茂田、大森南、西蒲田【女子】東六郷   |
| 間 取 り | 1R(約27㎡)   |
| 利 用 料 | 22,100円～23,500円(他に共益費あり)   |
| 入居要件  | (下記①～③すべての要件を満たす方)<br>①独身②給料月額が一定額以下③区内に同居できる親族がいない<br>審査があり、必ずしも入居できるとは限りません。 |

### ●大田区職員文化会

大田区の職員で構成され、職員の文化活動・サークル活動への助成や福祉増進のための事業など、さまざまな福利厚生事業を行っています。

## 働き方改革を推進しています！

職員が働きやすく、働きがいのある環境づくりを行い、業務の効率化やモチベーションの向上、ワーク・ライフ・バランスの実現等を図っています。  
 職員一人ひとりのパフォーマンスを向上させることで、より質の高い区民サービスの提供ができるよう、全庁を挙げて働き方改革に取り組んでいます。

### 主な取組事例(一部)

- 時差出勤
- テレワーク
- 仕事と家庭の両立支援
- 超過勤務の縮減
- Web会議やビジネスチャットツールの活用

## 育児休業等



仕事と家庭生活を円滑に両立するため、妻の妊娠が分かった時から育児休業を取得しようと考えていました。妻とも相談しながら取得時期や期間を決め、職場の上司には早い段階で相談しました。担当業務を調整する必要がありましたが、職場の皆さんに快く受け入れてもらって大変心強かったです。出産時や妻の入退院の際には、出産支援休暇や育児参加休暇を活用し、継続してサポートできるようにと育児休業を約1か月間取得しました。

子どもの寝かしつけが上手くいかなかったり、何をしても泣き止まなかったり、「やはり育児は大変だな」と途方に暮れることもありましたが、なにより子どもの成長を間近で感じる事ができたことはかけがえのない時間でした。これからの人生においても、必ずプラスになる経験だと思います。

大田区の育児をサポートする制度は充実していますので、家族のため自分のために、ぜひ活用してみてください。

育児休業を取得した松淵さんに聞きました！

